北信・戸隠スキー場〜飯綱山〜一の鳥居 山スキー

2021年1月10日

メンパー:T野・A原・I崎・Y科・T村M・T村E・K林・H口Y









昨日の夕方、雪が止み、妙高山なども顔を出したので、今朝はちょっと期待していた。だが、目が覚めると雪がコンコン・・・否、ゴンゴン降っていた。車を見るとうず高く雪が積もり、一晩で40~50cm位は積もっただろうか・・・。

これでは我々のセンター幅100mm以下の細板では、気持良く雪に浮くことはできない。昨日同様、雪の少ない場所に逃げることにしよう。さて、どこに行こうか?今晩もここ妙高に泊まるのであまり遠くには逃げたくない。まあ、長野市内まで行けば、かなり雪は落ち着いているだろう、と思い久しぶりに戸隠スキー場から飯綱山に行くことにして出発。

途中で寄ったコンビニでアクシデントがあり、M上さんが濡れた床で滑って転倒し頭を強打した。 I 崎車に乗った私は先に現場を出発していたので直接目撃はしなかったが、K林さんの話だと一時的に意識が飛んだということだ。やはり頭は心配なので、ホントに残念だが大事を取ってM上さんには今日は滑らずに、帰京していただくことにする。

戸隠スキー場に着くと思惑通り、雪は降っておらず 薄日も差していてまずまずのツアー日和。イヤイヤし てやったりである。このスキー場を熟知したHロYさ んの助言に従い、リフト2本乗り継ぎスキー場トップに 向かう。思った以上に奥行きのあるスキー場で、ここ で滑っても充分楽しめそうな良さげなスキー場だ。す ぐ近くに高デッキ山というスキーハイキングに良さそ うな山もあり、天気が良ければ景色も素晴らしいので、 初心者を最初に連れてきてお試しするのも良さそうな ところだ。

我々はスキー場のトップからシールを張らずに、まず、飯縄山の鞍部まで1本滑ることに・・・。

これがもう最高に気持ちが良い!!

■写真 スキー場トップから飯綱山鞍部までの滑降、 まさに、雪風呂状態!!パウダーを満喫!!

ノートレースの深いパウダーでスピードが乗るとオーバーヘッドの雪煙が上がり、思わず雄たけびモードとなる。短いが最高の1本だった。

ただここからが大変。膝まで潜るスキートップが出ない深いラッセルに消耗。交代でラッセルするが、I

崎ラッセル車の活躍が年齢を全く感じさせずホント素晴らしい!!ラッセル後にゆっくり休んでもすぐ







に追いつくので山頂までノーレストで進むが、それでも標高差300m弱に何と2時間近く要した。

12:17に山頂に着いたが登ってみてビックリ!!山頂にはいったいどこから登ったのか、立派な弾丸道路ができている。 ただ、これで下りラッセルは免れたと内心ニヤリ!!。飯縄神社まではアップダウンがあるのでシールのまま行くが、続々と登山者が登ってくる。それにしてもこの弾丸道路は凄い!!道を外せばツボ足なら胸まで潜るがここを歩いている限り、ツボ足でも全く潜らずに歩くことができる。いったい誰が整備しているのだろうか? 本格的な雪山にあってちょっとに違和感のある光景だ。

さて、シールオフして滑降開始!!トレース沿いに まあまあ快適に滑っていくがトレースが深すぎて横 断すると注意しないとバランスを崩してしまうので、 できるだけトレースを横断しないように滑っていく。 しかし、しばらく滑っていくと予定しているルートか ら外れていることに気づく。本来、西に向かわねばな らないのに、トレースは真南に延びていて、調子に乗 って真南に降りてしまったのだ。I 崎さんが70m登り 返せば正規ルートに戻れるという。 ただ、 正規ルート にはトレースがなく、下りラッセルになった場合、距 離があるのでかなり時間がかかりそうだ。そして、地 図でルートを確認すると後半、かなり傾斜が緩く、 その可能性はかなり高い。ここは思案のしどころだ。 真南に降りると、一の鳥居登山口に降りることにな り、起点の戸隠スキー場に戻るにはかなり距離があ り、とても歩いて行ける距離ではない。ただ降りて しまえば少なくても危険はない、きっと何とかなる だろう。ということでこのまま下降することにする。

■写真上・中 これも雪風呂!!気持ちいい!! ■写真下 鞍部から飯綱山に向けてラッセル!!

このルートはスキーで滑降するには、ブッシュが密で狭く、快適とは程遠いが、まあ「滑れない」ほどではない。密な藪をうまく避け、滑りやすい隙間を探しながら滑るというのは、それはそれで別の楽しさもある。マメに止まってメンバーを確認しながら滑っていくと、やがて傾斜が緩み、大きな鳥居をくぐると圧雪された車道に出た。ここから車道を少し滑ると戸隠バードラインという大きな道路に出た。

そして、うまい具合に出たところにバス停があり、時刻表を見ると何と1分後に戸隠スキー場行きのバスが来るではないか!!ドライバー3名が取るものもとりあえず大急ぎで支度しているとバスが来た。何というタイミングの良さ!!

ということで今回もメデタシメデタシなのだが、この後ちょっとしたトラブルがあった。

ドライバー3名が戸隠スキー場から車を回送して、帰りの準備をしていた時に、軽トラに乗った地元の登山者っぽい人が何やら我々に対して怒りをぶちまけてきた。最初は駐車している車が邪魔だと怒っていると思って話を聞いていたがどうやら違うらしい。スキーがどうのこうの、と怒っているので、車道を滑って降りたことを怒っているのかと思いきやそれも違うようだ。よくよく話を聞いてみると、どうやら我々がこのルートをスキーで滑って降りてきた事に腹を立てているようだ。「ここは市民の山なのでスキ





一でトレースを付けるとそのトレースに迷い込んでしまうだろう!!」と怒っているのだ。正直、納得もできないし意味も分からないので、こちらも言い返す。「スキーのトレースに入れば、腹まで潜るしすぐに気づくだろう。それ以前にスキー禁止とも書いていないし、私有地でもなさそうだし、大体、本格的な雪山に登ること自体、何かアクシデントがあったら下手したら帰れなくなって危険でしょう。その考え方自体、少し雪山なめてません?!!」そんなようなことを言って応戦したら大人しくなった。

■写真上 ラッセルでゲットした飯縄山山 頂!! ■写真下 下部も雪風呂状態、樹間は狭いが それも楽しい!!

考えてみればあのトレースに違和感を感じたのはそういうことだったのかもしれない。つまり、雪山は本来、道はなく、トレースがあればラッキー!!くらいに考えて入山すべきだ。それなのにツボ足で歩いても潜らないようなトレースを付けて整備すること自体、自然をなめているように思えてしまうのようなトレースを整備して雪山を知らない人がツ

ボ足で気軽に登ることの方が危険だと思う。事故が起きないことを祈るばかりである。

まあ、最後に少しミソが付いたが、初めてのルートだったし、それなりに楽しむことができた。ただ、 再訪するならちゃんと正規のルートを滑った方が面白いと思うし、変なトラブルに巻き込まれることもな いのでこのルートは避けた方が良いかもしれない。

■コースタイム

スキー場トップ(10:15)~(10:25)鞍部~(12:17)飯縄山~(14:20)鳥居~(14:25)バス停